

加入実績

金額単位：億円

区分	項目	計画	元年度	計画対比	前年度	
		共済金額 A	共済金額 A'	金額 A'/A	共済金額	
漁業 漁獲共済	1号漁業	83.0	74.8	90%	81.3	
	2号漁業	漁船漁業	840.0	854.6	101	831.5
		定置漁業	405.0	405.1	100	427.4
		小計	1,245.0	1,259.7	101	1,258.9
	計	1,328.0	1,334.5	100	1,340.2	
漁業 特定養殖共済	藻類	40.0	43.6	109	40.6	
	貝類等	101.0	92.0	91	96.6	
	計	141.0	135.6	96	137.2	
	漁業施設共済	7.0	7.7	110	7.4	
	定置網	58.0	49.5	85	47.2	
計	65.0	57.2	88	54.6		
合計	1,534.0	1,527.3	99	1,532.0		
地域共済 (林漁補償)		6.0	5.7	95	5.7	
総合計	1,540.0	1,533.0	99	1,537.7		

共済金支払実績

金額単位：億円

区分	項目	元年度	前年度	前年度増減	
		金額	金額	金額	
漁業 漁獲共済	1号漁業	5.84	3.86	1.98	
	2号漁業	さんま棒受網	17.91	4.30	13.61
		ほたて貝桁網	11.33	33.51	△ 22.18
		小型合併	4.42	3.28	1.14
		かに籠	3.08	1.66	1.42
		一般底びき網	2.19	1.51	0.68
		すけとうだら刺し網	1.55	1.70	△ 0.15
		いか釣り	1.04	0.99	0.05
		上記以外の漁船	0.44	0.49	△ 0.05
		漁船計	41.96	47.44	△ 5.48
		定置漁業	50.15	34.46	15.69
	一般大型定置	2.34	1.63	0.71	
	小型定置	1.88	1.70	0.18	
	上記以外の定置	0.64	0.40	0.24	
	定置計	55.01	38.19	16.82	
小計	96.97	85.63	11.34		
計	102.81	89.49	13.32		
特定養殖共済	藻類	0.11	0.06	0.05	
	ほたて貝等	12.70	2.33	10.37	
	上記以外の養殖	0.05	0.00	0.05	
	貝類等計	12.75	2.33	10.42	
計	12.86	2.39	10.47		
漁業施設共済	定置網	0.16	0.16	0.00	
	養殖施設	0.06	0.07	0.01	
	計	0.22	0.23	0.01	
総合計	115.89	92.11	23.78		

無事故払戻金支払実績

金額単位：億円

区分	項目	元年度	前年度	前年度増減	
		金額	金額	金額	
漁業 漁獲共済	1号漁業	0.01	-	0.01	
	2号漁業	漁船漁業	0.81	0.96	△ 0.15
		定置漁業	0.08	2.11	△ 2.03
		小計	0.89	3.07	△ 2.18
計	0.90	3.07	△ 2.17		
特定養殖共済	藻類	0.57	0.28	0.29	
	貝類等	0.07	0.16	△ 0.09	
	計	0.64	0.44	0.20	
合計	1.54	3.51	△ 1.97		

ぎよさい「令和元年度事業実績」まとまる
加入実績は一千五百三十三億円 共済金支払実績は過去最高の二百十五億八千九百万円

五月二十九日に開催された本年度の第一回理事会で令和元年度事業報告および令和二年度の事業計画の設定が審議され、六月十九日開催の通常総会議案として提出することが決まりました。

令和元年度決算に基づく加入実績は、共済金額で一千五百三十三億円となり、事業計画の一千五百四十億円を若干下回り、主要漁業の水揚げ低迷による補償水準（共済限度額）の下降により、過去最高を記録した前年度を四億七千万円下回る実績となりました。

前年度実績と比較しますと、漁獲共済では、2号漁業の漁船漁業で、小型合併、いか釣り、一般敷網等の新規加入や、ほたて貝桁網等で補償水準が上昇したこと等により、二十三億一千万円増加し、定置漁業で、小型定置の新規加入がありました。一方、秋さけ定置、一般大型定置で補償水準が下降したこと等により、二十二億三千万円減少したことから、漁獲共済全体では、五億七千万円減少しました。

特定養殖共済では、ほたて貝等の休業や補償水準が下降したこと等により、一億六千万円減少しました。

また、漁業施設共済では、全道で「さけ定置漁具」の普及推進活動を引き続き行った結果、一部の地域で新規加入が図られたこと等により、二億六千万円増加しました。

一方、支払実績は、共済金で一百十五億八千九百万円、無事故払戻金で一億五千四百万円となり、前年度の共済金、無事故払戻金をあわせた

九十五億六千二百万円と比較しますと二十一億八千一百万円上回る支払となりました。

主な共済金は、秋さけ定置五十億一千五百万円、さんま棒受網十七億九千一百万円、ほたて貝等十二億七千万円、ほたて貝桁網で十一億三千三百万円でした。

なお、全国の加入実績は共済金額で七千二百七億円、支払実績は共済金で二百九十四億円となっており、北海道は加入実績で二十一%、支払実績で三十九%を占めています。

積立ぶらす「令和元年度引受・払戻等の実績」まとまる

令和元年度の引受実績は、件数で四千三百八十一件、金額（漁業者積立申込金額）で七十二億二千九百万円となり、前年度より一百八十五件、金額で九億四百万円増加しました。

一方、払戻実績は、件数で二千二百七十一件、金額（漁業者1+国3の払戻補てん金）で二百九十七億九百万円となり、前年度より五百四十四件、金額で六十五億六千一百万円増加しました。

ぎょさいの支払共済金と併せますと五年連続で一百億円を超え、過去最高額を記録した前年度を八十九億三千九百万円上回る三百十二億九千八百万円の大きな支払となりました。

なお、資源管理・漁場改善に取り組む漁業者に対する共済掛金の追加補助は、十九億七千八百万円となり、前年度より二千九百万円増加しました。

積立ぶらす引受・払戻等の実績

1. 引受実績表

金額単位：億円

区分	項目	元年度A		前年度B		A-B		A/B (%)		
		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
漁獲共済	1号漁業	119	3.03	118	3.43	1	△ 0.40	100	88	
	2号漁業	漁船漁業	1,970	22.66	1,769	21.55	201	1.11	111	105
		定置漁業	927	40.10	941	31.67	△ 14	8.43	98	126
	小計	2,897	62.76	2,710	53.22	187	9.54	106	117	
	計	3,016	65.79	2,828	56.65	188	9.14	106	116	
特定養殖共済	藻類	605	1.56	612	1.46	△ 7	0.10	98	106	
	貝類等	760	4.94	756	5.14	4	△ 0.20	100	96	
	計	1,365	6.50	1,368	6.60	△ 3	△ 0.10	99	98	
合計		4,381	72.29	4,196	63.25	185	9.04	104	114	

金額は、漁業者積立申込金額である。

2. 払戻実績表

金額単位：億円

区分	項目	元年度A		前年度B		A-B		A/B (%)		
		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
漁獲共済	1号漁業	38	4.91	31	7.55	7	△ 2.64	122	65	
	2号漁業	漁船漁業	949	32.98	809	35.81	140	△ 2.83	117	92
		定置漁業	784	141.93	640	82.72	144	59.21	122	171
	小計	1,733	174.91	1,449	118.53	284	56.38	119	147	
	計	1,771	179.82	1,480	126.08	291	53.74	119	142	
特定養殖共済	藻類	49	0.31	44	0.23	5	0.08	111	134	
	貝類等	451	16.96	203	5.17	248	11.79	222	328	
	計	500	17.27	247	5.40	253	11.87	202	319	
合計		2,271	197.09	1,727	131.48	544	65.61	131	149	

金額は、払戻補てん金（漁業者1：国3）の合計である。

3. 共済掛金追加補助

金額単位：億円

区分	項目	元年度A		前年度B		A-B		A/B (%)	
		純掛金	追加補助	純掛金	追加補助	純掛金	追加補助	純掛金	追加補助
漁獲共済		56.92	18.56	56.55	18.35	0.37	0.21	100	101
特定養殖共済		5.37	1.22	5.05	1.14	0.32	0.08	106	107
合計		62.29	19.78	61.60	19.49	0.69	0.29	101	101

令和二年度の取組み

「ぎょさい・積立がらす」の一層の浸透を

本年度の事業計画では、本年度から新たなスローガンのもと展開することになった『ぎょさい普及推進全国運動・令和の備えもぎょさいとがらす』に呼応し、未加入となっている主要漁業・養殖業の解消や漁船漁業等の加入率向上を目指し、引き続き加入推進に取り組みと共に、定置漁具（漁業施設共済）の掛金率引下げをPRし加入拡大を図ることにより、漁協・在札系統・関係団体・行政と連携のもと、ぎょさい・積立がらすの一層の浸透を目指します。また、近年の著しい水揚変動に対応した補償内容を提供する等、事業環境の変化に適切に対応出来るよう内部体制の強化に努め事業を展開して参ります。

加入計画では共済金額を一千五百二十億円と定め、その必達を期します。

なお、重点加入推進項目は次の四点です。

- ① 二十トン未満漁船漁業等の加入拡大
- ② 未加入地域における主要漁業・養殖業の加入推進
- ③ 継続契約（積立がらすとのセット加入）における補償内容の充実
- ④ 漁業施設共済（定置漁具）の加入拡大

引き続きご理解とご協力を賜ります様お願い申し上げます。

令和2年度事業計画（案）

区分		項目	件数	共済限度額 又は 共済価額	共済金額	共済掛金		
						純共済掛金	附加共済掛金	
			件	億円	億円	千円	千円	
漁業	漁獲共済	1号漁業	73	104	81	353,000	65,000	
		2号漁業	漁船漁業	2,690	1,092	856	3,259,000	476,000
			定置漁業	730	423	372	2,175,000	261,000
			小計	3,420	1,515	1,228	5,434,000	737,000
	計	3,493	1,619	1,309	5,787,000	802,000		
共済	特定養殖共済	藻類	771	60	43	153,000	21,000	
		貝類等	1,045	240	95	386,000	75,000	
		計	1,816	300	138	539,000	96,000	
共済	漁業施設共済	養殖施設	2,487	14	8	29,000	4,000	
		定置網	434	112	59	167,000	53,000	
		計	2,921	126	67	196,000	57,000	
合計		8,230	2,045	1,514	6,522,000	955,000		
地域共済(休漁補償)		31	6	6	8,000	6,000		
総合計		8,261	2,051	1,520	6,530,000	961,000		

漁獲共済の集団加入における件数は1集団1件、漁業施設共済の養殖施設における件数は幹縄1本当たり1件である。

令和の備えも

ぷぎよさいと
ぷらす



ぎよさい普及推進全国運動

令和2年4月～令和5年3月

